

News Release

「ザ・プレミアム・モルツ」新CM 広瀬すずさん、伊藤沙莉さん、オダギリジョーさん出演 「プレモル子ちゃん」シリーズ第3弾「青いバラ」篇 3月8日(土)から全国で順次オンエア開始

日本アニメーション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石川和子)がアニメーション制作・ライセンス展開を行う『ちびまる子ちゃん』の20年後の世界を実写で描いた「プレモル子ちゃん」シリーズの第3弾「青いバラ」篇(15秒・30秒)を、3月8日(土)から全国で順次オンエア開始します。「ちびまる子ちゃんがプレミアムな大人になったら?」というオリジナルストーリーを描いた同シリーズは2月から放映をスタートし、プレミアムなまるちゃん役を広瀬すずさん、プレミアムなたまちゃん役を伊藤沙莉さん、プレミアムな花輪くん役をオダギリジョーさんが演じています。



【新CM「青いバラ」篇】

新TV-CMについて

2025年の「ザ・プレミアム・モルツ」ブランドは、「人生は、ゆっくりおいしくなる。」というキーメッセージの下、漫画・アニメ「ちびまる子ちゃん」の登場人物が20年後にプレミアムな大人になった世界を実写として描いた新CM「プレモル子ちゃん」シリーズを展開しています。第2弾「手紙」篇では、ニューヨークのバーで20年ぶりに再会したプレミアムなまるちゃん(広瀬さん)とプレミアムなたまちゃん(伊藤さん)が、20年後のお互いに向けて書いたタイムカプセルの手紙を読むシーンを描きました。

その続編となる「青いバラ」篇では、プレミアムなまるちゃんとプレミアムなたまちゃんがいるバーを、オダギリさん演じるプレミアムな花輪くんが訪れる場面が描かれます。大人の雰囲気どころか、色気すら漂わせるプレミアムな花輪くんの姿に目を見張る、プレミアムなまるちゃんとプレミアムなたまちゃん。プレミアムな花輪くんが2人に美しい輪の青いバラをプレゼントします。久々の再会を祝して「ザ・プレミアム・モルツ〈ジャパニーズエール〉香るエール」で乾杯し、旧交を深める中、プレミアムな花輪くんが言い放った懐かしのフレーズと、それを聞いた2人のリアクションは……。ニューヨークを舞台にしたプレミアムな世界観で展開される、プレミアムな大人に成長した3人の微笑ましい掛け合いにご注目ください。

CMストーリー

「青いバラ」篇(30秒)

ニューヨークのマンハッタンの景色を、フェリーから眺めているプレミアムなまるちゃん(広瀬さん)とプレミアムなたまちゃん(伊藤さん)、プレミアムな花輪くん(オダギリさん)の姿に、「これは、プレミアムな大人になったまる子たちのお話」というナレーションが重なります。

所変わってバーにて、プレミアムな花輪くんがお店に入ると、カウンターにいたプレミアムなまるちゃんとプレミアムなたまちゃんが、「花輪くん!？」と驚いた表情で振り向きま。2人のもとへ歩み寄りながら、「君たちがここにいるって風の噂(うわさ)で聞いてさ...」とプレミアムな花輪くん。すっかり大人になった姿を見て、「花輪くん、なんか雰囲気変わったねえ」「大人の色気?ってやつですか」とうれしそうな二人に、「そんなことより...はい、夢をかなえたレディーたちに」と青いバラをプレゼントします。「相変わらずキザだねえ」と微笑むプレミアムなまるちゃんと、青いバラに顔を近づけて「あ、いい香り~」とうっとりするプレミアムなたまちゃん。席についたプレミアムな花輪くんと乾杯して、「ザ・プレミアム・モルツ(ジャパニーズエール)香るエール」をおいしそうに飲む3人の姿に、「香りに浸る、贅沢な時間を。香るエール」というナレーションが重なります。

ひと口飲んだ後、「花言葉は“夢 かなう”さベイビ~」と花言葉を二人に伝えるプレミアムな花輪くん。その言葉を聞いた二人は、「中身は、昔のまんまだね」「ヒゲが生えただけだね...」と、プレミアムな花輪くんに聞こえないように小声で会話します

撮影エピソード

◇主要キャストが顔をそろえたにぎやかな撮影現場

オダギリさんの登場によって、ようやく「プレモル子ちゃん」シリーズの主要キャストが一堂に介した「青いバラ」篇。撮影はワンテイクごとに、3人の楽しそうな笑い声が響き渡る和気あいあいとした空気の中で進みました。特に盛り上がったのが、みんなで乾杯するシーン。広瀬さんが「ひと口飲んだ後、どこを見たらいいんだろうと思って、ちょっとキョロキョロしちゃった(笑)」と申し出ると、伊藤さん、オダギリさんも「そうだよね」と同意し、お互いにその時どこを見て、何を考えていたのかを明かして、大爆笑する場面がありました。

◇花輪くんおなじみのフレーズの自然な言い回しを追求

今回のCMで、プレミアムな花輪くンを演じたオダギリさんが「会話の中で普通に言うのがすごく難しい」と語っていたのが、広瀬さんと伊藤さんに贈ったお花の花言葉を明かすシーンです。「○○○さ、ベイビ~」は、漫画・アニメの花輪くんがよく使うおなじみのフレーズで、直後の広瀬さんと伊藤さんのリアクションを引き出すキーワードだけに、真剣な表情でプレイバックを確認し、監督とコミュニケーションを取りながら、より良い芝居どころを探っていました。

◇青いバラの美しさと香りに広瀬さん&伊藤さんもうっとり

「夢をかなえたレディーたちに」という言葉とともに、オダギリさんが広瀬さん、伊藤さんにプレゼントしたお花は、サントリーが世界で初めて開発した青いバラで、正式名称は「SUNTORY blue rose Applause」。アプローズとは「喝采」という意味で、花言葉は「夢 かなう」です。夢をかなえるために努力してきた多くの人へ喝采を贈りたいという思いが込められています。珍しい色合いに加えて、みずみずしい芳醇(ほうじゅん)な香りも特徴的で、広瀬さんと伊藤さんは撮影の合間にその美しさを愛でたり、香りを嗅いだりして、うっとりした表情を浮かべていました。

※「夢 かなう」は「SUNTORY blue rose Applause」の花言葉であり、青いバラの一般的な花言葉とは異なります。

CM概要

タイトル：「青いバラ」篇(15秒・30秒)
出演：広瀬すず／伊藤沙莉／オダギリジョー
放映開始日：3月8日(土)より順次
放送地域：全国

※CM映像はYouTubeサントリー公式チャンネルでもご覧いただけます。

「青いバラ」篇

15秒 https://www.youtube.com/watch?v=8M_Ft0S7o_U

30秒 <https://www.youtube.com/watch?v=B6DHpWelhdQ>

「ザ・プレミアム・モルツ〈ジャパニーズエール〉香るエール」ホームページ

<https://www.suntory.co.jp/beer/thepremiummalts/kaoruale/>

参考資料

『ちびまる子ちゃん』について

さくらももこ原作の「ちびまる子ちゃん」は、静岡県清水市(現・静岡県静岡市清水区)を舞台に、そこに暮らす一家・さくら家の次女である小学3年生のまる子(さくら ももこ)と、家族や友達たちの日常を、楽しく面白く、時に切なく描いた心温まる作品です。

1986年に『りぼん』(集英社)で連載を開始し、2021年に原作35周年を迎えました。原作コミックスは全18巻が発売中。発行部数は累計3,500万部を突破(デジタル版を含む)、海外版はアジア各国、フランスでも出版されました。1990年からはテレビアニメ放送もスタートし、フジテレビ系列で毎週日曜日夕方6時より放送中。中華圏をはじめとする海外でも放送され、世界中の老若男女を魅了し、長きに亘り愛され続けています。



©さくらプロダクション/日本アニメーション

Webサイト：<https://www.chibimaru.tv/>

公式X(旧Twitter)：@tweet_maruko

(https://x.com/tweet_maruko)

Instagram：@chibimaruko_official/

(https://www.instagram.com/chibimaruko_official/)

Facebook：<https://www.facebook.com/chibimaruko.official/>

YouTube：<https://www.youtube.com/@ChibiMarukoChannel>

<本件に関するお問い合わせ先>

【「ちびまる子ちゃん」に関するお問い合わせ先】

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当：村岡

電話：03-3545-2202 E-mail：pr-NA@nippon-animation.co.jp

画像掲載の際はコピーライトを記載いただきますようお願い申し上げます。

© S. P/N. A